

「出雲市トキによるまちづくり構想」の改定について

本市では、トキの分散飼育を機にトキをシンボルとする環境にやさしいまちづくりを目指して「出雲市トキによるまちづくり構想」（以下「構想」）を平成 23 年（2011）8 月に策定しています。今回、国の動きを踏まえ、新たな構想の策定を進めておりますので、その状況を報告します。

1. 構想の趣旨

環境省が、これまで佐渡島のみを対象地としていたトキ保護増殖計画について、本州も対象地とする計画に変更し、その具体的な取組を定めた「トキ野生復帰ロードマップ 2025」を本年 7 月に公表しました。

この決定を受け、本市におけるトキの野生復帰の実現に向け、「出雲市トキによるまちづくり構想」を改定するものです。

2. 構想の期間

令和 12 年度（2030）までの 10 年間

3. 構想の主な変更点

（1）基本目標

新たに 5 つの基本目標を設定し、それに基づく施策を進めていきます。

旧構想		新構想
トキ保護増殖事業	➡	市民の環境意識の向上
自然環境の保全・再生		環境にやさしい農業の普及
産業・文化・教育との相乗効果		豊かな生態系の再生
		地域産業への波及
		人的交流の活性化

（2）構想の実行計画と推進体制

構想の下に、達成目標や目標年限、実施体制などを定めた具体的な実行計画（アクション・プラン）を作成し、取組を進めていくこととします。

4. 構想改定までの経過と今後の予定

令和3年 8月 第1回トキによるまちづくり推進協議会
11月 第2回トキによるまちづくり推進協議会
12月 市議会に改定案を報告
パブリックコメント実施
令和4年 3月 構想確定

5. 国の本州等におけるトキ定着に向けた取組について

国は、本州でのトキの定着に向けた取組として、本年10月のトキ野生復帰検討会で「トキとの共生を目指す里地（案）」を公表しました。

これは

- ①トキの受け入れに意欲的な地方公共団体を選定（令和4年度中）
- ②選定団体と佐渡市との間で交流を図る
- ③本州におけるトキの野生復帰の実現を目指すとするものです。

本市でのトキの野生復帰に向け、この「トキとの共生を目指す里地」への選定を目指していきます。

国の動きと出雲市の取組

